キャラクター名
時田 ハチロク（ときた はちろく）

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	DJ？
オプショナル		年齢	19	性別	男
覚醒	無知	衝動	闘争	初期侵食率	36 %
出自	義理の両親	経験	力の暴走	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	0		4	7
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	36
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
12dx-1@8 d10+6	白兵	12r-1		+6		+電光石火Lv4+不可視の刃Lv1
12dx-1@7 d10+7 100↑	白兵	12r-1		+6		+電光石火Lv4+不可視の刃Lv1
12dx-1@6 d10+7 100↑	白兵	12r-1		+6		+電光石火Lv4+不可視の刃Lv1+激情の早鐘Lv2
12dx+2 ﾘｱｸｼｮﾝ	白兵	12r+2				+電光石火Lv4+切り払いLv1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：ＵＧＮ幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
アリエル	P 庇護	N 不安		
霧谷雄吾	P 慕情	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ：ﾊﾇﾏｰﾝ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値-Lv								
電光石火	4	3	メ/リ	-	-	-	-	
効果：組み合わせた判定のダイスを+[Lv+1]個する　ただしHP-1D点								
不可視の刃	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：素手のデータを変更　攻撃力+[Lv+5]　命中-3 装甲-5								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：全力移動のあとに白兵攻撃　離脱不可								
獅子粉塵	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果：組み合わせた白兵攻撃の対象を範囲(選択)に変更								
切り払い	1	1	ﾘｱｸｼｮﾝ	至近	自身	対決	-	
効果：組み合わせた判定でドッジを行える								
激情の早鐘	1	4	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果：戦闘不能回復時に使用　次のﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ終了まで判定のC値-1(下限値6)　重複可								
子羊の歌	1	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：対象にHPダメ適用直前に使用　そのダメージを自分に適用								
無音の空間	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：								
空の楽器	1	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

若手新鋭DJっぽい恰好をしているが普段何をしているのかよくわからない。ふらふらしている。
幼少期に覚醒しUGNに保護された。

音楽をこよなく愛す人間に見えるが実際は聴力がほぼ無く、ヘッドホン状の"補聴器"をつけている。
耳の部分に埋め込まれており、破壊しない限り外すことができない。
この補聴器は人の声や音楽、というよりは風の速さや空気の流れをとらえるためのもの。
本人は戦闘時もリズムに身を任せているそぶりを見せるが、周りからは猛烈なスピードで動いているように見える。
耳が聞こえないのをいいことに説教を「ごめん、耳悪くて聞こえなかった」と流すことがある。

PC①
シナリオロイス：アリエル　推奨感情　P庇護／N不安
カヴァー／ワークス：指定なし／UGNチルドレン
アリエルは、風を操るレネゲイドビーイングの少女だ。
任務で彼女を保護して以来、キミに懐いており、何かとキミを手伝おうとする。
だが、戦いに参加したがるアリエルを、キミは許さなかった。彼女の力は弱く、戦うには不十分だったからだ。
そのことで傷ついたのか、アリエルはキミの前から姿を消した。「パワーアップする」と言い残して。